

2021年2月19日

各位

会社名 アジア開発キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 アンセム ウォン
ANSELM WONG
(コード: 9318 東証第2部)
問合せ先 社長室 天神 雄一郎
(TEL. 03-5534-9614)

ワンアジア証券株式会社の第三者割当増資引受（子会社化）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、ワンアジア証券株式会社（以下、「OAS社」といいます。）が実施する第三者割当増資を引き受け（以下、「本件引受」といいます。）、同社を子会社化することについて決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、本件引受につきましては、2021年2月26日開催予定のOAS社臨時株主総会において第三者割当増資に関する議案が承認されることを実施の条件といたします。

記

1. 本件引受の理由

当社グループは、2020年3月期まで14期連続して経常損失を計上しており、2021年3月期第3四半期連結決算において320百万円の営業損失を計上し、財政状態の改善および収益力の強化が経営の最重要課題となっております。現在まで大幅な損失を計上している中、2020年10月6日に発行済株式数の2.3倍に相当する大規模な第三者割当増資を実施しました。これにより、株式の希薄化を招き、全株主にご迷惑をおかけすることとなりました。当社は、前述の増資を実施したことに加え、11月下旬に経営陣の刷新を行い、事業の総点検を行いました。それを受け、2018年8月14日に前経営陣が策定した中期経営計画の実現が困難と判断、企業価値を高め、事業成長を実現するため、不必要なコストの更なる削減と収益構造の抜本的な再構築を実行すべく、グループ全体において実現可能な収益改善プロジェクトを迅速に立ち上げる方針です。

今後の利益創出に向けた、より具体的、かつ実現可能なリバイバルプラン、2022年3月期から2024年3月期（2021年4月～2024年3月）までを対象とする新たな中期3ヵ年経営計画および、この変更に伴う資金用途の変更を本年3月初旬迄に策定し、発表する予定であります。

当社は本年2月15日付適時開示資料「ワンアジア証券株式会社との包括的業務提携に関する基本合意のお知らせ」にてお知らせした通り、OAS社との包括的業務提携の諸準備を双方で協力・実施していましたが、この度、当社がOAS社を子会社化することにより、当社との関係性の強い新鴻基有限公司 SUN HUNG KAI & CO. LIMITED（SEHK:0086）（以下、「SHK社」といいます。）グループの証券会社であるEVERBRIGHT SUN HUNG KAI LIMITED（以下、「ESHK社」といいます。）とのシナジーを活かすことで、当社の経営課題の解決に寄与し、同時にOAS社の経営改革を支援することにもつながると考えるに至りました。そして、このことが両社において一日でも早く利益を創出し、社会的信用の向上に繋がるものと判断いたしております。

なお、本件引受は自己資金によって行う予定でございます。

当社は2020年10月にSHK社の100%子会社であるSUN HUNG KAI STRATEGIC CAPITAL LIMITED（以下、「SHKSCL」といいます。）に第三者割当増資を実施し、SHKSCLは当社の筆頭株主になりました。香港を拠点とする財閥系コングロマリットのSHK社（総資産約6,000億円）及びSHK社系列証券会社ESHK社（香港最大規模の証券会社、管理資産約2兆円）が有する豊富な産業知識とグローバルネットワークを活用し、巨大な可能性を持ち、中長期的な経済成長が見込める中国・香港地域をビジネスターゲットとします。

OAS 社では、金融関連諸法令を遵守した上、後述の既存の業務に加えて、当社及び SHK 社グループとともに下記のアドバイザリー業務を展開していきたいと考えております。

- ① 日中両国の資本市場を活用した株式や債券による資金調達や経営戦略に関わる M&A アドバイザリー
- ② 中国・香港企業による日本企業への M&A アドバイザリー
- ③ 日本企業によるアジア圏の企業への M&A アドバイザリー
- ④ 特定の日本企業による香港証券取引所への上場に関わるアドバイザリー
- ⑤ クロスボーダー M&A に付随するサービス

日中両国の企業に対して M&A や事業再生に関する最適なアドバイスを提供し、お客様企業の長期的な成長を幅広くサポートし、企業価値向上に貢献していきます。

また、アジア企業、とりわけ中国・香港企業に対する国内の投資情報の助言や、日本国内における既存のクライアント（主に中堅企業オーナーや富裕層個人）にハイクオリティな金融サービス及び海外の運用商品を提供していきます。中国・香港株や債券取引のほか、四半期毎に新しい商品やサービスの開発・提供に努めてまいります。

その他、投資事業組合を使ったファンドビジネスで SHK 社とのシナジーを活かし、利益を生む体質に変えてまいります。日中両国における経済成長を後押しすることで、両国の資本市場の発展に貢献していきます。

<OAS 社について>

OAS 社は、2001 年 2 月設立以来、証券業務を行ってきました。株式相場の売買委託手数料が減少している上、手数料自由化に伴う引き下げ競争も激化し、大幅減収に追い込まれる中小証券企業の淘汰が本格化する中で、同社は M&A 仲介事業等の新規事業への進出を試みましたが、結果を出すことができず、収益改善の兆しが見えなかったことから、2020 年 6 月に経営陣を刷新し、コロナ禍の中で経営改革を断行し、管理体制及び全組織の再構築を徹底的に進行させております。専門性の高い仕事を着実にこなせるよう、投資銀行業務や信託業務の経験を有する人材を採用し、外部との専門家との連携も積極的に行っております。内外専門家のノウハウを活かすことで、お客様に新たなサービスを提供するとともに、内部管理体制の強化及び業績の安定化に繋げることを目指しております。

また、他社との差別化を図るために、中国・香港株や債券の取扱い商品を拡大し、今後は四半期毎に、投資家の方に真に求められ、支持される独自性の高い商品やサービスの開発・提供に努め、既存の投資家に限らず、新規投資家の獲得に繋げていくことを創意工夫していきます。

手数料以外の収益源は OAS 社の将来を左右すると認識し、既存ビジネスに加え、投資事業組合等を用いたファンドビジネス、クロスボーダー M&A の FA 業務、MS ワラントや CB の引受けなどの新しい金融サービスを積極的に行うために、グローバル投資銀行業務について多様な知識と経験を有する役職員を新たに迎え、クライアントの多様なニーズに対して専門性の高いソリューションを提供することが可能となる体制を整えていっております。

OAS 社の既存の収益構造は、ブローカレッジ業務に大きく依存し、株式相場の影響を受けやすいビジネスモデルでした。同時に、上位証券会社に市場シェアが集中してきており、既存のビジネスモデルではこれからの時代に成長するのは難しくなってきました。

そこで、ESHK 社とのシナジーを活かし、時代の流れにフィットした競争優位性を構築したいと考えております。

SHK 社グループとは、相互の信頼に基づき、両社の特性および強み、社風、ビジネスモデルを活かしつつ、互恵的かつ協力的な戦略提携を目指してまいります。

近い将来において、アジアが世界の経済発展と金融革新のグローバルハブになると確信し、多くのアジアのクライアントやビジネスパートナーと交流を拡げていくことを通じ、クライアントの資産拡大に貢献する投資機会を発見し、アジア経済の未来の発展に寄与していくことを使命であると考えております。

なお、当社執行役員副社長の小杉裕が、OAS 社の代表取締役副社長に就任予定となっております。

2. OAS 社の概要

(1) 名 称	ワンアジア証券株式会社	
(2) 所 在 地	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 鬼木 康男	
(4) 事 業 内 容	第1種及び第2種金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第201号	
(5) 資 本 金	970百万円	
(6) 設 立 年 月 日	2001年2月14日	
(7) 大株主及び持株比率 (既存)	1. KING STONE (INTERNATIONAL) HOLDINGS LIMITED 35.76% 2. CRYSTAL KIRIN LIMITED 14.93% 3. LUCKY VIBE LIMITED 14.71% 4. 株式会社 朝陽 13.17% 5. 株式会社アジアゲートホールディングス 8.12% 6. 中島 一彦 3.29% 7. 中文産業 株式会社 3.07% 8. 藤井 正晴 2.66% 9. 後藤 由利子 1.53% 10. 山本 麻記子 0.61%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社は本増件引受により当該会社の普通株式 750,000 株 (62.23%) を保有する予定であります。
	人 的 関 係	当社執行役員副社長の小杉裕が、OAS 社の代表取締役副社長に就任予定となっております。
	取 引 関 係	当社は、2021年2月15日付で、当該会社との間で包括的業務提携契約を締結しています。

3. OAS 社の直前3事業年度の経営成績及び財政状態 (単位：千円)

決算期	ワンアジア証券株式会社		
	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
純 資 産	188,700	238,275	234,395
総 資 産	1,479,132	1,601,813	1,145,884
1株当たり純資産(円)	474.7	599.5	589.7
売 上 高	40,482	36,049	34,870
営 業 利 益	△99,085	△146,710	△163,442
経 常 利 益	△100,969	△147,063	△163,073
当 期 純 利 益	△101,669	△150,325	△163,826
1株当たり当期純利益(円)	△255.81	△378.23	△412.20
1株当たり配当金(円)	—	—	—

4. 本件引受の方法

同社が実施する第三者割当増資により発行する株式 750,000 株全てを当社が引き受け、同社を当社の子会社といたします。

5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株
(2) 取得株式数	750,000 株
(3) 取得価額	OAS 社の普通株式 60,000,000 円
(4) 異動後の所有株式数	750,000 株 (株式保有割合 : 62.23%)

6. 本株式取得の日程

(1) 取締役会決議日	2021年2月19日
(2) 引受契約締結日	2021年2月26日(予定)
(3) 株式引受実行日	2021年2月26日(予定)

7. 今後の見通し

本子会社化による当社の 2021 年 3 月期の連結業績に及ぼす影響は軽微であります。今後、当社の連結業績等に重要な影響を与える事象が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

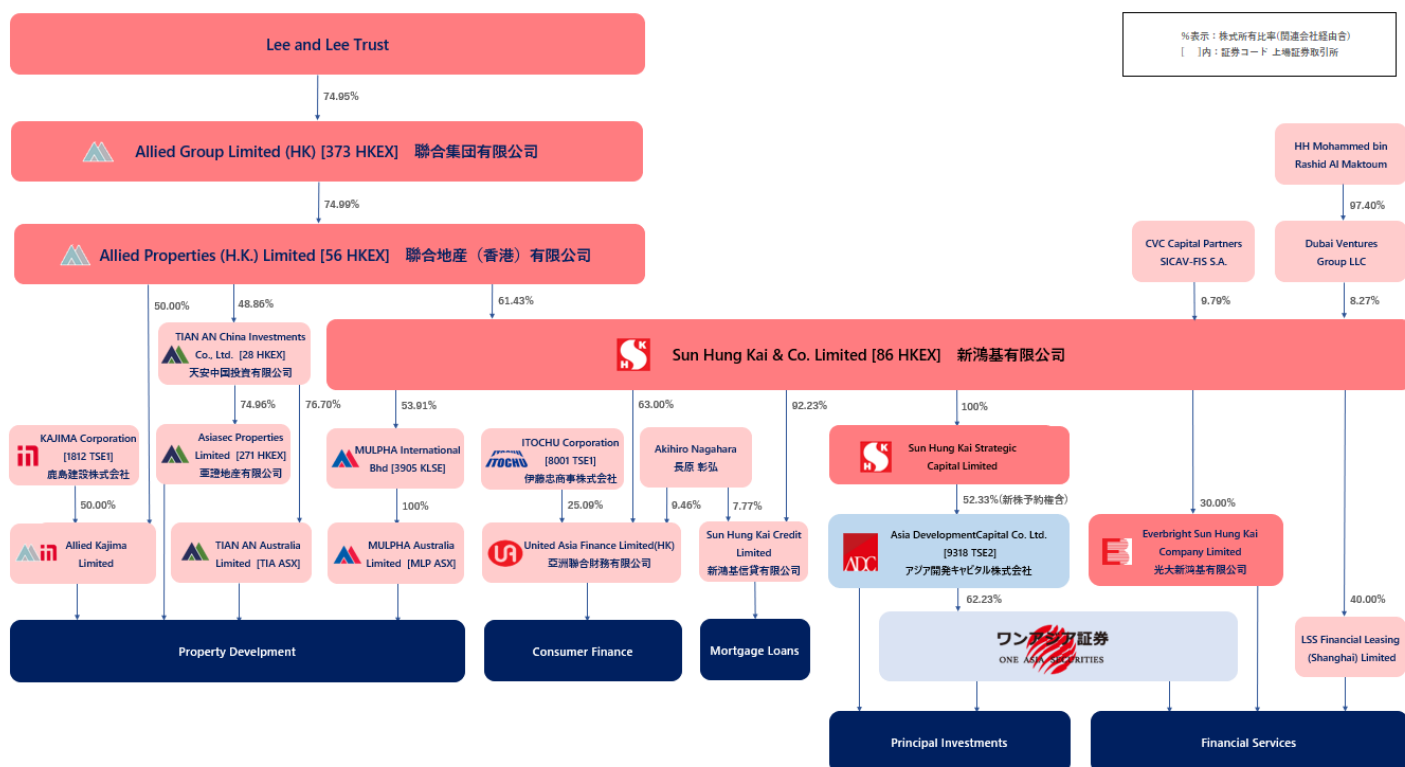
以上

参考

<SHK 社について>

本子会社化に伴い OAS 社との間でシナジー効果が見込まれる SHK 社の概要は下記の通りです。

(以下、「SUN HUNG KAI & CO. LTD. 2020 INTERIM RESULTS」より一部加工の上引用)



🔍 Company Overview

- Established in 1969 – market leading financial services businesses
1969年設立、香港金融市場のバイオニア
- Listed in 1983 on Stock Exchange of Hong Kong
1983年に香港証券取引所に上場
- Strategic transformation into investment management since 2015
2015年に証券仲介業から投資顧問会社へ大きく変貌
- Focused on growth through financing and investing
2020年デット投資・エクイティ投資による成長

🔍 50 Years of Excellence in Financial Markets 50年の沿革

HK\$43B total assets

Committed to generating long term capital growth for shareholders

総資産 430 億 HKD (約 6,000 億円)

1969 – 2006

- Brokerage Business
証券仲介業
- Listed in HK in 1983
1983年にHKEXに上場
- Allied Properties acquired majority stake in 1996
アライドプロパティーズが大株主

2006 – 2015

- Consumer Finance market leader
消費金融市場の先駆者
- Entered China in 2007
2007年中国進出
- Leading independent Broker and Wealth Manager

2015 – 2020

- Core Consumer Finance business
消費者金融事業
- Developed Mortgage business
資産担保融資事業
- Built Investing platform that leveraged our strengths
強みを生かした投資でプラットフォームの構築

From 2020

- Create sustainable growth through:
持続可能な成長:
- Financing
デット投資
- Investing
エクイティ投資

🔍 Our Business

40.3%

CONSUMER FINANCE

消費者金融業務ノンバンク事業

HK Market Leader, Significant Market Presence in the PRC



32.8%

INVESTMENT MANAGEMENT

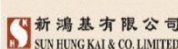
投資顧問事業

Diversified portfolio of equity, credit and real assets, both public and private
Extension to Fund Management

7.6%

MORTGAGE LOANS

資産担保融資



3.1%

SPECIALTY FINANCE

消費者ローン

10.1%GMS

Liquidity Reserves, Group Services and Unallocated Finance Costs

6.1%

STRATEGIC INVESTMENTS

戦略投資

Wealth Management

& Car Financing



🔍 Earnings Drivers and Segment Assets

		Assets (% of total) 資産
		(HK\$ million)HK 百万
     	Consumer Finance 消費者金融業務ノンバンク事業 <ul style="list-style-type: none"> • Strong business in HK 香港での強力なビジネス • Mainland China – consolidated branches and moving online 中国本土の支店の統合とオンラインへの移行 • UAF stake increased to 63% UAF の出資比率は 63% に増加 	17,283.1 40.3%
	Specialty Finance 消費者ローン <ul style="list-style-type: none"> • Formerly Private Credit プライベートクレジット • Lower balance on cautious outlook 慎重な見通し 	1,341.7 3.1%
	Mortgage Loans 資産担保融資 <ul style="list-style-type: none"> • Established market position 市場での確固たる地位 • Good operating leverage 優れた営業力 • Focus on loan quality ローンの質を重視 	3,267.7 7.6%
	Investment Management 投資顧問事業 <ul style="list-style-type: none"> • Impacted by market volatility but achieved overall six-month return of 4.4% 6 か月で 4.4% の収益を達成 • Building fund management platform ファンド管理の構築 • Strong liquidity profile for PE portfolio PE ポートフォリオの強力な流動性プロファイル 	14,058.1 32.8%
	Strategic Investments 戦略投資 <ul style="list-style-type: none"> • EBSHK steady performance EBSHK の安定したパフォーマンス • LSS Leasing - growing presence as ride hailing service Provider ライドシェアリングの提供 	2,613.8 6.1%
	Group Management and Support グループマネージメントとサポート <ul style="list-style-type: none"> • Liquidity reserves, Group services and unallocated finance costs 流動性準備金、グループサービス及び未割当の財務コスト 	4,318.6 10.1%
Group Total		42,883.0

🔍 Strategic Investments ~ Synergy Partner



Associate 関連会社

- 30% owned 30% 保有
- AUM over HK\$120 billion 管理資産 1200 億超 (2 兆円超)
- Solid performance in the period 堅調と成長

- Total equity interest + put right HK\$2,340m at year end, 5.5% of the Group's asset 総持分+プット・オプション 23.4 億 HKD (316 億円) グループ総資産の 5.5% を占める



Joint Venture 合弁会社

- 40% owned 40% 保有
- B2B and B2C auto leasing B2B+B2C カーリース
- Expanded into the ride-sharing and goods delivery segments ライドシェアリングとオンラインデリバリーサービス業に進出

- Strengthen partnership with Lalamove Lalamove との提携業務を強化
- Formed cooperation with other online ride-sharing and logistic platform その他のオンラインライドシェアリング及びオンラインデリバリーサービス業と提携

(引用終わり)